



AA日本ニューズレター



AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス TEL 03-3590-5377

〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F

FAX 03-3590-5419



〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

No.47

第六回日本ゼネラル・サービス・ミーティング

テーマ 20周年へ向けての日本のAAの棚卸し パート

第六回ゼネラル・サービス・ミーティング(以下GSMとします)が、6月24・25・26日の三日間にわたって東京・門前仲町のホテルB & Gにおいて開催されました。

詳細の報告につきましては現在、事務局で作成いたしております報告書をご覧くださいと、今回はその概略をここにお知らせ致します。

今回のGSMのテーマは昨年開催された第5回のGSMと同じに【20周年へ向けての日本のAAの棚卸し・パート】ということで全国各地より選出された評議員を中心に活発な意見の交換、経験の分かち合いをさせていただきました。

まず、今回のテーマに決定した経緯を説明いたしますと、毎月、第2日曜日のAM10:00より行っておりますGSM事務局メンバーの会議の中で、昨年のGSMの棚卸しをした結果、このテーマに沿った分かち合いが十分になされたという確認がもてず、また、来年3月には【AA日本20周年記念集会】も開催されることであり、この際、再度同じテーマによりAA日本の棚卸しを徹底するのにも非常によい機会であり、同時に、一昨年のGSM以降、グループの中や種類のサービス活動の場で聞こえて来たメンバーの声を反映させての重要性を強く感じたため、今回このテーマに決定いたしました。

テーマ決定後、直ちに全国の評議員の方にお知らせし、同時に、各地域におけるさまざまな問題、経験等をこの場に反映したいと願い、各地域の後期の評議員に事務局より、今回のGSMの全体会議の中に提案する事柄、またその主旨に対するの説明を3月に依頼いたしました。その回答を事務局において集約、検討しプログラムの概略を作成した後、方針委員会のメンバーの方の助言をいただき、検討を重ねた結果プログラムを決定いたしました。

従来は、全体会議に提議される事柄があまりに盛りだくさんなため、個々の事柄に対して十分な討議、

分かち合いをする時間も取れず、また、分科会においてはそれぞれが異なった事柄についての討議、分かち合いを行って来たため、焦点がボケてしまうという意見も多く耳にして来ましたので、今回は全体会議、分科会のテーマをすべて統一し、焦点を絞り込み重点的な中身の濃さを求めるものとさせていただきました。

このテーマ、プログラムの決定を得てから、多くのメンバーにも参加していただきたいという思いから、BO 916, またこの日本ニューズレターの紙面等を通して広報にも努めてまいりました。開催初日、参加者の自己紹介をかねて行われたランチパーティ・ミーティングの席上では、半数以上のメンバーから、GSMは3日間が完全な缶詰状態になり、朝の9時より夜の10時まで、プログラムが詰まっていた、そのうえ会議場は禁煙ということで非常にハードなミーティングであるというようなユーモアを交えたスピーチがありましたが、その中にも始まる前の緊張を解きほぐそうという思いや、重大なミーティングに参加しているのだという意気込みを強く感じました。

以下にプログラムに沿って概略の報告をさせていただきます。

プログラム 元オフィス幹事退任挨拶、並びに新オフィス運営委員就任挨拶。

元オフィス幹事の挨拶には長年の尽力に対する盛大な感謝の拍手が贈られ、新しく就任したノンアルコールのメンバーを含む7人のスピーチに対しては、新体制に対するの期待を込めた熱烈な拍手が贈られた。

プログラム a 出版局よりの報告

出版局より、新刊書 回復への道パート の説明、改訳版 どうやって飲まないでいるか の説明、並びに販売促進協力の依頼あり、前回のGSMからの懸案事項である。12 & 12 改訳の状況、発行の予定の説明後、価格や装丁の話し合いになったが結論がでずに分科会で話し合うことに決定。今後発行予定の出

版物について紹介説明。

『20周年史』についての説明。

プログラム B JSO事業報告

新オフィス運営委員の奥村よりJSOの運営報告並びに運営計画報告、運営資金赤字に対する対策の検討(メンバー各位に献金に対する理解を求める具体的方法等)。

再版引当金に対する再検討(実状に合わせた割合と再版引当金を取り入れる書籍そのもの見直し)書籍在庫並びに在庫表の公表、出版計画の見直し、ビデオ作成の見送り、今後のJSOの献金収入の立て直し策で収支決算表の表示の検討(メンバーのかたがたに一見して理解していただけるよう)。

JSOの広報活動の検討。新オフィス運営委員に2人のノンアルコールの方々に就任していただけたことで、今後外部に対する広報活動(特にマスコミ、医療関係等)がより一層の展望が拓けることが予測されるので、今後広報担当運営委員とJSOスタッフメンバーが具体的検討を続ける。

プログラム c 常任理事会構想

これに関しては後述させていただきます。

プログラム、AA日本20周年

・記念集会実行委員長、山宮より現状報告後、各分科会委員長8人にパネラーとして参加いただき、具体的な説明並びに質問に対する回答が得られた。

20周年記念集会の場での全国代議員集会構想、常任理事会構想等の意見も盛り込まれた。

プログラム WSM評議員選出

第5回GSMの時点で新WSM評議員の推薦選挙を計画したが実施できず、JSOに一任されてから現在に至る経緯の説明がJSO所長山本よりなされ、オフィス運営委員の岡崎氏を推薦、岡崎氏もこれを受託し、信任投票の結果満票にて信任された。

岡崎氏は新任の挨拶の中でWSM評議員としての熱い抱負の言葉を語られた。

緊急動議 評議員の代理について。

GSMの表決権を有する者が急に都合が悪くなって出席出来なくなった場合、選出母体の了承なしに個人的に代理を立てることはできない、と投票により採択された。

プログラム 第1回アジア・オセアニア・サービス会議

GSM開催直前にニュージーランドのWSM評議員が来日し、日本AA20周年を機会にアジア・オセアニア・サービス会議を実施しようと話し合い、開催実行に向けて進行中。

プログラム AAとは

メインテーマ、棚卸しの『AAとは』に対して、事

務局より依頼したテーマに対する提言をいただいた中部・北陸評議員の村松より下記の提案趣旨説明がなされた。

- 1, クローズド・ミーティングとは
 - a だれが出席する(できる)ミーティングか
 - b アルコールをやめたいという願望を誰が判断できるのか?
 - c アルコール以外の依存症から回復したい人がAAのクローズドミーティングを訪れたときの対応は?
 - d AAのミーティングをAAの伝統にいつも照らし続けているか。
- 2, オープンミーティングとは
 - a なぜAAにオープンミーティングが必要(あるのか)なのか?
- 3, AAのサービス活動の責任は誰にあるのか?
 - a グループレベルで今問題になっていることは?
 - b 地区レベルで今問題になっていることは?
 - c 地域レベルで今問題になっていることは?
 - d 地域のオフィスで今問題になっていることは?
 - e JSOで今問題になっていることは?
- 4, 専門家にAAを理解してもらうための情報をどのように広報するか?
 - a AAが必ず伝えなくてはならないことは?
 - b AAができることは?
 - c AAができないことは?
 - d AAの問い合わせはどこに?
 - e 専門家との協力関係でAAが守ることは?

以上の項目について意見百出し、結果的にはAAは伝統に沿った方法により近づけるということになりましたが、詳細は報告書を参照してください。

プログラム サービスの役割について

前項目と同様、北海道評議員の金田より提案趣旨説明があった。

- 1, 役割の輪番制の大切さとは
- 2, サービス活動にはなぜ委員会が必要なのか?
- 3, サービス活動に必要な財源と使途について
- 4, 地区、地域委員会、集会の存在と責任とは?
- 5, AAのサービス活動に伝統、概念、マニュアルをどう生かして行くか?
- 6, 委員会活動の第一のものは何か?

等の分かち合いに進んだが、現実的には北海道のサービス活動が現在一時的な凍結状態にあるため、それらの今後の展望等の分かち合いに終始した。参加したメンバー全員が北海道の現状に心を寄せた暖かい雰囲気に分かち合いであった。

プログラム なぜ、地域評議員を選出するのか
前項目と同様、関東評議員の今井

より提案趣旨説明があった。

- 1, 地域のグループ(代議員)はなぜ地域評議員を選出するのか?
- 2, グループが委託した評議員の役割とは?
- 3, 選出したグループの責任とは?
- 4, 選出された評議員の責任とは?
- 5, 地域評議員が地域サービスで受持つ責任とは?
- 6, 地域評議員が全体サービスで受持つ責任とは?
- 7, 地域評議員と地元のオフィスとの協力とは?
- 8, 地域評議員とJ S Oとの協力とは?
- 9, 地域評議員の活動財源は?
- 10, G S Mの報告義務を評議員はどう受止めるか?
AAのサービスにかかわる構成上重要かつ重大なことなので、AAの先人たちがいかに多くのメン

バーの方々に述べ伝えて理解を深めていくか、等具体的な経験が分かち合われた。

例、具体的には、G S M終了後熱気が冷めない時点で、各地域で機会を捕らえて報告会を開催して行くなどである。

以上で全体会議の概要の報告は終わらせていただきます。詳細並びに各分科会の報告につきましては、10月の発行を目指して準備を進めている報告書がグループに届きますので、そちらをお読みいただきたいと願っております。

最後に今回のG S Mにも関心あるメンバーの方多数にご参加いただき、充実した分かち合いができたことを事務局一同心から御礼申し上げますと共に、今後も絶大なご協力をお願い申し上げます。

『AAフェロシップ構成の確立に向けて』

《常任理事会構想の報告》

J S Oオフィス運営委員 杉之尾



1月16日の第一回オフィス運営委員会で常任理事会設置案の担当を引き受けさせてもらい、以後サービスマニュアル、12の概念と首っぴきで素案を練り、何回か他の運営委員と電話ファクスで打ち合わせをして、提案理由、常任理事会構想案、現時点の日本のフェロシップ構成図の3点セットを資料として纏め第6回のG S Mに臨みました。

前日のオフィス運営委員会で24日の全体会議の時間帯の中である程度の論議を重ねた上、25日のサービス・ネットワーク委員会の分科会に委ねることになっていましたが、《20周年記念集会》の議論が白熱し、資料の提出とサービス・ネットワーク委員会で話し合ってもらおうということだけに止めざるを得ませんでした。翌25日に行われたサービス・ネットワークの分科会に私も参加し、来年3月大宮市で開催される《AA日本20周年記念集会》の中で全国各地で活動している代議員、地区・地域の委員、G S Mレギュラーメンバーが一堂に会し『全国レベルの集会』の場で、常任理事会設置案を包括した《AA日本フェロシッ

プ構成の確立》を話し合うことになりました。その集会の準備室を九州セントラル・オフィスに置き、九州地域委員会のメンバーがその任に当たるということが最終日の全体会議で採択されました。

1985年3月、東京・九段で開催された10周年記念集会の全国代議員集会に初めて参加したおり、『自分たちはグループを維持するのが精一杯だから、そういう面倒臭いことは東京の仲間任せにしておけばよい』と言っていた自分が時を経て、過去5回のG S Mにメンバーとして参加し、当時各地域でバラバラだった呼称が全国的に統一され、徐々にサービス体系が整備される中で、G S Mが全国評議会でないジレンマを感じるようになった時、唯一未整備である常任理事会の設置案が20周年記念集会の場で具体的に話し合われる事は素晴らしいことだと思います。

サービス・ネットワークの分科会の席上オブザーバーとして参加していた関西の若い仲間から『果たしてグループはそれを望んでいるのか』という疑義が出されましたが、休憩時間の短い分かち合いの中で意志が通じ合い、最終日、散会する際わざわざ挨拶に来られたことはうれしい出来事でした。

『常任理事会はなぜ必要か』『なぜ評議会でなければならないのか』ということの説明するだけの知識も説得力も持ち合わせていませんが、日本のAAが成年に達する今、AAメンバーの一人一人が先人からの贈り物である サービスという遺産 を考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

第13回ワールドサービスミーティング**テーマ 基本に戻って**

6月のGSMにて、ワールドサービスミーティング(WSM)前期評議員に、ノン・アルコールのJSOオフィス運営委員である久里浜病院の岡崎氏が選出されました。早速、後期評議員の美松さんとともに、10月9日から13日まで、南米コロンビアの美しい観光地カルタヘナで開催される、第13回ワールドサービスミーティングに参加していただきます。

WSMの今回のテーマは「基本に戻って」ということで、「アノニミティ」、「スポンサーシップ」、「回復の道具としてのAA出版物」、「サービスの基本」、「AAの霊的な側面」といった、AAの基本について、世界各国のWSM評議員との経験の分かち合いが行われます。

このWSMもGSMに負けず劣らず、5日間にもわたって連日朝の9時から夜の9時半まで開催される非常にハードなスケジュールで、しかも日本語は、通じない世界のため、評議員にとっても気を抜くことのできない緊張の5日間になります。

このような貴重な経験や分かち合いをしてこられるWSM評議員の帰国後の報告会開催の予定については、まだ少々早いのですが、各地域の行事計画に組み込んでおいていただけますよう、よろしく願い申し上げます。

**AA60周年
インターナショナル・コンベンション**

前号でもお知らせしましたように、AAの60周年を祝うインターナショナルコンベンションが来年の6月29日から7月2日まで、カリフォルニア州のサンディエゴで開催されます。現在のところ、前号でのお知らせ以上の情報はまだ到着しておりませんが、おそらくこのニューズレターが皆様のお手元に到着するには、詳細な案内がJSOおよび各地のセントラルオフィスに届いていることと思います。

6月のGSMの会場で各地の評議員の方にお知らせした時点では、我が国からツアーを組むにあたっては、各地のセントラルオフィスを中心に、近場の国際空港から出発するツアーを組んでいただきたいとお願いをしましたが、全国的にひとつのツアーにまとまった方がツアーの価格もかなり低く押さえられることが分かり、また、人数がそろえば旅行社の添乗員も依頼でき、それによって、言葉の心配もなくなるため、全国的なツアーを組む予定であります。

メンバーの方々にはグループ代議員、あるいは、セントラルオフィスを通して情報をお届けしますが、参加を希望される関係者の方がいらしゃいましたら、至急JSOにご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

AA韓国**第3回インターナショナル
コンベンション**

期日：1994年11月4日(金)夜7:30から
11月6日(日)まで

会場：釜山ハイアット・リージェンシー・ホテル

登録料：US\$20

宿泊料：US\$13～\$104まで各種あり

今回のコンベンションが開催される釜山は、日本からは一番近いところにあり、会場も、海岸沿いの韓国でも1、2を争う美しいホテルです。多くの日本のメンバーの参加を心待ちにしているとのことですので。

JSOに申し込み用紙が備えてあります。電話ください。

**AA香港25周年記念集会****香港戒酒無名会**

期日 10月15日(土)朝9時
16日(日)午後1時

会場 九龍 香港海員倶楽部 3F

登録料 HK\$400

中国語のミーティングも開催されます